



NEWS RELEASE

2014年3月20日

シリコンラボ、「Simplicity Studio™」新バージョンを発表

豊富なツールと IDE を統合した Simplicity Studio™ エコシステムが、ARM® ベース EFM32™ Gecko MCU と 8051 ベース MCU をサポートし、組み込み開発環境をより簡素化に

卓越したアナログ設計技術で、高性能ミックスドシグナル IC を設計・販売するシリコン・ラボラトリーズ社(本社: ミネソタ州オースチン、Nasdaq: SLAB、以下:シリコンラボ)は、自社の省エネ型 32 ビット EFM32™ Gecko マイクロコントローラ(MCU)および 8 ビット MCU を統合的にサポートする、Simplicity Studio™ 開発エコシステムの新バージョンを発表しました。新バージョンは、Simplicity Studio の初版の優れた特徴をそのまま受け継ぎ、今日出荷されている 240 種類以上の ARM®ベースの EFM32 MCU をサポートしているほか、シリコンラボの 8051 ベースの MCU 製品に対応しました。また Simplicity Studio 新バージョンは、32 ビットと 8 ビット両方の組み込み設計をサポートする、Eclipse ベースの統合開発環境(IDE)も統合しています。Simplicity Studio は、開発者に無償で提供されており、Simplicity IDE と開発ツールを含めた Simplicity Studio は www.silabs.com/simplicity-studio からダウンロード入手できます。

Simplicity Studio は、初期コンセプトから最終製品まで、組み込み設計者がプロジェクトを完成させるために必要な、すべてのものを 1 つの使いやすいプラットフォームで提供することにより、開発プロセスをより簡単かつより速く、より効率的に進められるように設計されています。Simplicity Studio プラットフォームには接続されたターゲット MCU を瞬時に検出するインテリジェンスが組み込まれています。グラフィカルなハードウェア構成ツールが自動的に MCU を構成するため、開発者は技術文書を熟読する時間のかかる作業から解放されます。開発者は、サンプルデモとアプリケーション・コードの例を使用してプロジェクトを立ち上げて数分で実行することができます。

Simplicity Studio を使用することで、シリコンラボ製 MCU のお客さまは新しいソフトウェアツールの操作を習得する必要はなくなり、8 ビット MCU と 32 ビット MCU の両方で開発ができます。こうした統合化の取り組みは、8 ビットと 32 ビット両方の MCU を必要とするユーザーにとって時間とリソースの節約になると同時に、新規プロジェクトの習得を容易にします。開発者は Simplicity Studio を使用することでシリコンラボの MCU ポートフォリオ全体、製品オプション、組み込み設計ソリューションを検討できるほか、自分のアプリケーションに合った MCU を容易に見つけることができます。このプラットフォームには MCU 製品および開発キットの購入リンクが組み込まれており、様々なトレーニング材料も付属しています。

組み込み開発者は、統合されている Simplicity IDE を使用してファームウェアの開発とデバッグを行うことができます。Simplicity IDE は Eclipse プラグイン、Eclipse Debugger for C/C++、Keil® および Gnu Compiler Collection

(GCC)ビルドツールをサポートしているほか、8 ビット MCU 開発者向けに Keil PK51 ビルドツールを無償提供しています。Keil µVision または IAR Embedded Workbench IDE を使用したい場合でも、Simplicity Studio は他社製ツールをシームレスにサポートしているため、開発者は Simplicity Studio 内で必要な IDE を起動できます。

Simplicity Studio には他にも、MCU ピンアウトおよび周辺機器配置の構成ツールや C コード生成ツールといった開発に役立つツールがあります。構成ツールはピンアウトの競合も自動的に解消するため、開発者は時間と労力を大幅に省けます。

開発者が 32 ビットアプリケーションを最適化してエネルギー効率を上げられるよう、Simplicity Studio には電力消費量を推定してパフォーマンスとエネルギー効率のバランスを取るための、リアルタイムエネルギー・プロファイリングツールと分析ツールも含まれています。energyAware Battery Calculator を使えば消費電流とバッテリー寿命を推定できます。開発者はコードを書く前に、EFM32 MCU Energy Modes とバッテリー構成を選択し、消費電力を推定することができます。energyAware Profiler はリアルタイムで消費電流を分析し、電流引き込みが多すぎるため最適化する必要のあるコード領域をすばやく特定します。

Simplicity Studio ではデモ、ソフトウェアの例、データシート、アプリケーション・ノート、テクニカル・サポート、コミュニティ・フォーラムにワンクリックでアクセスできるため、開発者はアプリケーションに不可欠な情報やリソースをすばやく簡単に見つけることができます。組み込み開発者にとって必要なものがすべて一か所にそろっていることから、情報を探すための時間を節約し、アプリケーションの進展作業により多くの時間をかけることができます。

シリコンラボで、マイクロコントローラ/ワイヤレス製品担当シニア・バイスプレジデント兼ゼネラル・マネージャを務める Geir Førre はこうコメントしています。「シリコンラボの 8 ビットおよび 32 ビット MCU をネイティブにサポートし、高度なソフトウェア・ツール・スイート全体を『ワンストップ』のプラットフォームに統合した Simplicity Studio は、組み込み開発者の生産性を飛躍的に高めます。組み込みシステム設計者は、初期コンセプトから最終設計まで、統合された 1 つの開発エコシステムでプロジェクトを完成させることができ、今では開発が大幅に簡素化されています。」

Simplicity Studio はシームレスな Web ベースのアップデートをサポートしているため、新しいプラットフォームリリースで追加サポートや機能を追加するプロセスが大幅に簡素化されます。Simplicity Studio アップデートが利用できるようになれば、開発者は Studio を再インストールすることなくソフトウェアツールをアップデートできます。

シリコンラボの MCU ポートフォリオについて

豊富なラインアップを誇るシリコンラボの 8 ビットおよび 32 ビットミックストシグナル MCU は、「モノのインターネット」接続デバイスを含めた広範な組み込みアプリケーションにおいて、パフォーマンス、サイズ、コスト、エネルギー効率できわめて高い優位性を実現します。シリコンラボの EFM32 Gecko ファミリー(業界で最もエネルギー効率に優れた 32 ビットポートフォリオ)には、ARM Cortex-M0+、M3、M4 コアをベースとする約 250 種類の MCU 製品があります。EFM32 ポートフォリオ全体にピンおよびソフトウェアとの互換性があるため、開発者は組み込み設計をコスト効果の高い Cortex-M0+ ベースの Zero Gecko MCU から、DSP / FPU 対応 Cortex-M4 コアを搭載した、より高性能の Wonder Gecko MCU に拡張することができます。高性能を実現する 8051 アーキテクチャに基づくシリコンラボの 8 ビット MCU ポートフォリオは、超低消費電力、アナログ集約型、スモールフォームファクタ、産業、

自動車、静電容量式タッチ、スマートインタフェース、ならびに USB アプリケーション向けに最適化された 15 のファミリと約 500 種類の MCU 製品で構成されています。

シリコン・ラボラトリーズ社について

シリコン・ラボラトリーズ社(Silicon Laboratories Inc.、本社: 米テキサス州オースチン、www.silabs.com)は、卓越したアナログ設計技術で高性能なミックストシグナル IC を幅広いアプリケーション向けに設計する、業界大手半導体メーカーです。シリコン・ラボラトリーズ社の多様な高集積製品と特許は、ミックストシグナル設計において長年にわたる経験と実績を有する業界最先端のエンジニアリング部門が開発しています。シリコン・ラボラトリーズ社は、北米、ヨーロッパ、アジアの各地に設計、エンジニアリング、マーケティング、販売、アプリケーションの拠点を置いています。会社概要・事業内容の詳細は、www.silabs.com をご覧ください。

ご注意

このプレスリリースには、シリコン・ラボラトリーズ社の現時点における期待に基づく予測が含まれていることがあります。このような発言にはリスクと不確実性が伴います。様々な重要な要素が原因となって、予測とは異なる結果になることもあります。シリコン・ラボラトリーズ社では、投資家の方々に社の将来性をお伝えすることが重要と考えますが、正確な予測や管理が不可能な事態が今後発生するかもしれません。シリコン・ラボラトリーズ社の財務成績に影響を与え、実績が将来的記述と著しく異なる場合の要因の詳細については、シリコン・ラボラトリーズ社が米国証券取引委員会(SEC)へ最近提出した書類をご覧ください。

Silicon Laboratories, Silicon Labs, Silicon Laboratories ロゴ, Simplicity Studio”は、Silicon Laboratories Inc.の商標です。ARM, Cortex-M0/M0+/M3/M4, Keil は ARM Limited の登録商標・商標です。その他の登録商標・商標は、それぞれの所有者にその権利が帰属します。

###

報道関係者お問合せ先

シリコン・ラボラトリーズ社 Dale Weisman (グローバル広報マネージャ)

TEL: (米国)1-512-532-5871 E メール: dale.weisman@silabs.com

公式 Twitter アカウント <http://twitter.com/silabs> 公式 Facebook アカウント <http://facebook.com/siliconlabs>

シリコンラボ製品紹介サイト www.silabs.com/parametric-search.

ミアキス・アソシエイツ 河西 E メール: kasai@miacis.com

記事ご掲載時のお問合せ先

シリコン・ラボラトリーズ Y.K. TEL: 03-5460-2411(代表) www.silabs.com